



八王子市【東京都】 歴史文化基本構想

■策定年度：令和2年1月 ■人口：561,622人 ■市域面積：186km²
■担当課：八王子市教育委員会文化財課（令和2年3月現在）



八王子市は豊かな自然のもと、養蚕業や絹産業を背景に発展し、合併により生まれた広大な市域では地域ごとに特色ある歴史文化が育まれている。こうした八王子の歴史文化を特徴づける10の関連文化財群を設定し、「はちおうじ物語」と名付けた。本構想を「ふるさと八王子」の未来を築く“道しるべ”として、市民とともに「歴史文化を活かしたまちづくり」を進めていく。

5 歴史文化を表す つのキーワード

北条氏照と滝山城・八王子城、八王子宿と千人同心、
織物のまち、高尾山、祭りと伝統芸能

課題

- ・文化財とその周辺環境の保存・活用と継承
- ・文化財関連施設等のさらなる活用
- ・行政と地域との連携

保存活用方針

- ・文化財の継続的な調査・研究と適切な保存・管理
- ・文化財の担い手の育成・支援
- ・文化財の普及・啓発・活用
- ・歴史文化資源を活用したまちづくりの推進

保存活用のための取り組み

文化財の適切な保存・管理

国指定史跡の八王子城跡について、「八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」に基づき計画的に保存・整備・活用を図っている。また、令和元年度に調査報告書を作成した国選択無形民俗文化財の八王子車人形について、今後も調査・研究を継続していく。



文化財関連施設の活用ー 郷土資料館の展示と体験学習

原始・古代から近現代までの歴史・民俗資料などを調査・研究・収集・展示し、郷土の魅力ある歴史・文化を学ぶ場として、また、広く情報発信する拠点として様々な事業を行っている。体験プログラムとして「火おこし体験と縄文土器づくり」などを実施している。



講座・公演・体験型事業の実施

八王子市の歴史文化について理解を深めるため、市内に残る原始・古代から近現代までの文化財を見て歩く文化財見て歩き事業や、八王子の伝統文化・芸能にふれ、体験する伝統文化ふれあい事業などを実施している。



関連文化財群の活用と歴史文化 資源の価値の共有

八王子市の歴史文化を「知り、学び、活かし、つなげる」きっかけにするため、学校教育・生涯学習の教材、郷土資料館・図書館などの企画テーマの素材などに活用し、ふるさとへの誇りや愛着の醸成、地域コミュニティの活性化、まちのにぎわい創出につなげる。



関連文化財群「はちおうじ物語」

歴史文化の特徴	「はちおうじ物語」のテーマと時代背景				
	原始・古代	中世	近世	近現代	
原始・古代の歴史文化	其の一	原始・古代の遺跡が語る人々の営み			
交通の要衝としての歴史文化	其の二	東 西 南 北 い に し え の 道			
中世の歴史文化	其の三	中世の武士たちと「まちづくり」の礎			
近世の歴史文化	其の四	八 王 子 宿 と 千 人 同 心			
絹織物の歴史文化	其の五	桑 都 八 王 子 は 織 物 の ま ち			
絹の道の歴史文化	其の六	世 界 と つ な が っ た 絹 の 道			
自然との共生による歴史文化	其の七	自 然 と の 共 生 で 育 ま れ た 里			
高尾山の歴史文化	其の八	祈 り の お 山 高 尾 山 の 魅 力			
地域に伝わる伝統文化	其の九	季 節 を 彩 る 年 中 行 事 と 伝 統 文 化			
石碑や地名から読み解く地域の歴史	其の十	地 名 や 石 碑 に 残 る 地 域 の 記 憶			

八王子の歴史文化を物語る「テーマ」と「ストーリー」を組み立て、関係する文化財と周辺環境を一体的に捉えた「関連文化財群」を設定した。この関連文化財群を「はちおうじ物語」と名付け、市民にとって親しみやすいものとするので共有を図り、文化財の保存・活用につなげていく。

ストーリー

- ① 原始・古代の人々はどんな暮らしをしていた？
- ② いにしえの道は何をもたらした？
- ③ 武士たちがまちに遺したものは？
- ④ 千人同心はどのような文化を育んだ？
- ⑤ なぜ“桑都”と呼ばれるようになった？
- ⑥ 絹の道が生糸の他に運んだものは？
- ⑦ 里の景観や文化はどのように受け継がれている？
- ⑧ 高尾山はなぜ世界中の人々を惹きつけるのか？
- ⑨ どのような思いで伝統文化やお祭りは受け継がれている？
- ⑩ 地名や石碑にはどんな思いが刻まれている？

関東地方

策定後の成果（見込まれる効果）

① **文化財の保存活用の意識醸成**
地域の祭りや年中行事、地域で大切に継承されてきた伝統芸能について、その中核を担ってきた人々だけでなく、これまで関わってこなかった人々にも参加や鑑賞する機会を設けていくことで、歴史文化資源が地域共有の財産であるという意識と、年中行事や伝統芸能に参画する意識の醸成につながる。



② **構想を活用した地域の活性化**
本構想でまとめた「はちおうじ物語」に加え、令和2年度に日本遺産に認定されたストーリーの活用、そして、今後、本構想に基づいた取組を展開するために作成する「文化財保存活用地域計画」に基づき具体的な事業を柔軟に推進することにより、生涯学習活動や市民活動を通じて地域の活性化に寄与する。



③ **文化財の保存活用の好循環**
市民一人ひとりの歴史文化資源に対する意識を醸成することで、様々な主体が連携した文化財の保存と活用の好循環を創出し、持続可能な保存・活用のしくみ、体制づくりにつなげる。また、この取組が歴史文化資源に対するさらなる意識の高まり、本市への誇りと愛着の醸成へとつながることが期待される。

